

令和 4 年 4 月 15 日

教 育 長 様

(※受付番号)

研究コース
A グループ研究 A
校園コード (代表者校園の市費コード)
522031

代表者 校園名 : 大阪市立桜宮中学校
 校園長名 : 向井秀俊
 電 話 : 06-6921-6934
 事務職員名 : 櫛谷 葵
 申請者 校園名 : 大阪市立桜宮中学校
 職名・名前 : 教諭 田中美恵
 電 話 : 06-6921-6934

令和 4 年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	A グループ研究 A	研究年数	継続研究 (3年目)
2	研究テーマ	Web国際交流によるグローバル人材の育成(3年目) ～多聴多読活動と小集団国際交流～			
3	研究目的	テーマに合致した目的を端的に記載してください。 1. 前年度の国際交流活動の課題を解決し、国際交流の効果を更に高める。 (1) 英語処理速度や語彙力の向上 : 多聴多読活動 (2) 各生徒の交流機会増加 : 複数の小集団での国際交流 (3) 国際交流活動の全校展開 : 一部の活動を他学年や特別支援学級に展開 (4) 教員資質向上 : Microsoft Educatorオンライン講座受講 (5) C-Netや外部講師による対面式国際交流 2. ESD国際協働学習や異文化学習により、世界の子供達と共にSDGs達成を目指す。 (1) サービスラーニング : 途上国支援活動 (2) 海外の学校とのSDGs活動発表会 (3) C-Netや外部講師による異文化や発展途上国に関する学習 (4) 教員資質向上 : Microsoft Learn Educator Centerオンラインコース受講			
4	研究内容	継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。 <p>【昨年度成果】昨年度は、初年度に続き多様な方法で世界中の子供達と英語4技能を駆使した国際交流活動が実現した。交流により生徒・教員共に英語力・コミュニケーション力・ICTスキルが向上し、異文化や日本文化の理解や関心も深まった。過去2年間の主な研究の対象の73期生は、大阪市英語力調査(GTEC)の結果が大阪市平均と比較して全体に高く、特に発信力(書く力30点増、話す力20点増)に優れ、2年間の研究活動の効果が認められた。</p> <p>【本年度課題】本年度は、小学5年から新学習指導要領で英語を学んでいる、新1年生の76期生を主な研究対象とし、一部活動は他学年の生徒や特別支援学級の生徒も対象とする。新学習指導要領に基づく新しい教科書では、中学校卒業時に求められる語彙数がほぼ倍増だが、小学校の語彙600語~700語が定着しない状態で入学し、教科書の内容についていけず苦労する生徒が多い。リスニング問題も長く速くなっていて、小学校英語が定着していない生徒も含め、英語処理速度の向上が求められる。多聴多読活動や交流活動を実施することで、新しい教科書で求められる語彙力、英語処理速度、英語でのコミュニケーション力を鍛えることを目指す。また、複数の小集団で交流して交流機会を増やし、交流機会を全校に展開し、Web交流の効果を高める。対面型異文化学習・交流も実施し、外国を身近に感じるようにする。更に、交流活動にESDを取り入れ、途上国支援活動を行い、世界中の子供達と共にSDGs達成に向けて取り組むことで、地球規模の課題解決能力を持つグローバル人材を育成する。下記に具体的な活動内容を述べる。</p> <p>1. Web交流の効果増大 : 英語処理速度向上のため、多聴多読活動に取り組む。LL教室や準備室を整備し、クラスを複数班に分けて交流を行う。Microsoft Learn Educator Center研修コースなどの受講を通して、Web交流を含めたICTを活用した海外の英語教授法の知識を深めたり、多聴多読活動経験者の他校教員と交流し、本校教員の資質向上に努める。</p> <p>2. 対面式国際交流 : C-Netが昼休み外国ゲーム活動や、異文化学習の授業を毎学期数回実施したり、外国人の外部講師による異文化学習を実施する。対面式の異文化交流の場を頻繁に提供することにより、生徒たちや本校教員の海外への関心や知識を高める。</p> <p>3. ESD国際協働学習 : SDGsの活動では、学ぶだけではなく社会貢献も行う。後進国の学校や外部講師との交流や、他国の学校と貢献活動発表会を行う。Microsoft Learn Educator Center研修コースなどの受講を通してESDの知識を深め、本校教員の資質向上に努める。</p>			

研究コース

A グループ研究A

代表校校園コード

522031

代表校園

大阪市立桜宮中学校

校園長名

向井秀俊

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p><2021年：1学期></p> <p>4月 ・昨年度までの課題や先行研究を確認した後、研究テーマ・目的・内容・見込まれる成果等の検討 ・国際交流先や多読活動経験がある他校との打ち合わせ実施 ・C-Netの活動開始</p> <p>5月 ・交流活動・多聴多読活動開始(以後継続)</p> <p>6月 ・SDGs導入授業実施</p> <p>7月 ・WFPチャリティーエッセイコンテスト応募(発展途上国学校給食支援)</p> <p>8月 ・Oxford Big Read(英語多読用書籍読書感想ポスターコンテスト)参加、 ・Microsoft Learn Educator Centerオンライン講習受講 ・日本多読学会年会参加</p> <p><2学期></p> <p>9月 ・小グループ国際交流開始</p> <p>10月 ・文化祭で交流活動・社会貢献活動について掲示発表</p> <p>11月 ・外部講師による授業実施</p> <p>12月 ・研究発表会実施(参加者アンケート)</p> <p><2022年：3学期></p> <p>2月 ・教員・生徒への事後アンケート実施・分析・結果考察</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上および教員の資質や指導力の向上について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 「教員の資質や指導力の向上」Microsoft Learn Educator Centerオンラインコース受講やその内容の共有により、教員のESDや英語教授法に関する知識並びに指導力の向上が期待される。</p> <p>《検証方法》 4段階による教員アンケートを実施し、関連項目で平均2.8を目指す。</p> <p>【見込まれる成果2】 「教員の資質や指導力の向上」国際交流活動を通して、教員の外国や異文化に関する知識や、英語力の向上が期待される。</p> <p>《検証方法》 4段階による教員アンケートを実施し、関連項目で平均2.8を目指す。</p> <p>【見込まれる成果3】 「教員の資質や指導力の向上」国内外の学校との連携活動を通して、教員の指導力向上が期待される。</p> <p>《検証方法》 4段階による教員アンケートを実施し、関連項目で平均2.8を目指す。</p>

研究コース

A グループ研究A

代表校校園コード

522031

代表校園

大阪市立桜宮中学校

校園長名

向井秀俊

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果4】 「子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上」国際交流や社会貢献活動への参加を通して、生徒が世界的な問題及び異文化に対する理解度・受容度や外国・SDGsに関する関心度を向上することが期待される。</p> <p>《検証方法》 4段階による生徒アンケートを実施し、関連項目で平均2.8を目指す。</p> <p>【見込まれる成果5】 「子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上」対面式国際交流活動や英語多読活動への参加を通して、生徒が英語力（4技能）や英語でのコミュニケーションに関する関心度を向上することが期待される。</p> <p>《検証方法》</p>				
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（令和5年2月24日）までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="414 1006 1448 1080"><tr><td>日程</td><td>令和 4 年 12 月 3 日</td><td>場所</td><td>大阪市立桜宮中学校</td></tr></table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 4 年 12 月 3 日	場所	大阪市立桜宮中学校
日程	令和 4 年 12 月 3 日	場所	大阪市立桜宮中学校			
8	代表校園長のコメント	<p>今年度で3年目の取り組みとなるが、本校の子どもたちの英語コミュニケーション能力は、年々確実に向上している。リモートではあるが、いろいろな国の生徒や先生との交流が、緊張することなく楽しみながら出来るようになってきた。言葉だけでなく、パネルや身振り手振りで自らの思いを伝えようとしている姿に、2年間国際交流活動を続けてきた大きな成果を感じている。</p> <p>常日頃から、ペーパーテストだけでなく、使える英語を目指して全学年で実践しているため、本校の子どもたちの英語力調査の結果や英検2級取得率は他校に比べて非常に高い結果となり、子どもたちはもちろんのこと保護者からも高く評価されているところである。</p> <p>落ち着いた校内状況であり、教職員も積極的に指導力向上に努めている本校であるからできる部分ももちろんあるが、本校の取り組みを他校に発信することで、大阪市全体のレベルアップに繋がると確信している。</p>				